

## 目標達成計画

作成日：平成 29年 2月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		行われたケアの結果の記録が不十分なため、その成功や失敗等の結果が次のケアに十分に生かされていない。	過去に行われたケアの結果がいつでも確認できるように環境を整え、今後のケアに十分に生かす。	行われたケアの一つ一つの総括を定期的に行い、その過程や結果を記録する。その記録を職員がいつでも確認できる場所に保管する。	6ヶ月
2		毎月のモニタリング内容が現状の課題に捕らわれ、ケアプランからそれ十分な評価が行えないことがある。	ケアプランに添ったモニタリングを行う。	ケアプランを意図したモニタリングを行う。モニタリングの際、ケアプランを確認しながら行う。	6ヶ月
3	35	避難訓練が事業所内のみで完結してしまっている。そのため、もしもの時に地域住民の協力を期待できない。	地域住民に避難訓練に参加して頂き、定期的にお互いの役割を確認する機会を設ける。	地域住民との交流を深め、お互いに助け合える関係性を築く。そのためにまず、地域住民との挨拶を大切に、徐々に地域の催し物等にも関わっていく。	12ヶ月
4	4	会議ごとに決まったテーマが無い為、毎回同じような内容の会議になってしまっている。結果会議があまり発展せず、有効な内容実現に結びつかない。	会議ごとに決まったテーマを設け、会議の発展や有効な内容実現に繋げる。	会議ごとに施設の理念、現状、特徴に沿ったテーマを設ける事で、有効な内容実現を達成する。	9ヶ月
5	10	家族が施設の運営面に関わる機会が少ない。	事業者のみでなく家族も施設の運営面に来る限り携われる環境を整える。	家族に現状よりも施設の運営状況についてアナウンスする事で、運営推進会議や意見箱等に運営面での意見が出しやすいように環境を整備する。又、事業者側から運営推進会議等のテーマとして施設の運営面を取り上げる。	9ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。